

議会だより

発行 秩父別町議会

編集 議会広報特別委員会

第91号

第三回定例会 (9月13～14日)

一般会計補正予算並びに

平成22年度決算を認定!!

第3回町議会定例会は、9月13～16日までの日程で開会され、一般質問2名、条例の改正等7件、補正予算3件、平成22年度決算認定7件、人事案1件、選挙1件、意見書2件を審議・可決しました。また、平成22年度決算認定は、全議員による決算審査特別委員会の審査を経て可決され、日程を2日間残して閉会しました。

補正予算

新浴場実施設計費などを追加

一般会計補正予算は5千4万円を追加し27億3千543万円となりました。主な歳出は、台風12号の大雨により町道等に被害が出たため、その災害復旧の調査設計と工事費として1千430万円、ゆう&ゆの新浴場増築改修実施設計に

1千577万円、中学校吹奏楽部とプロの演奏家による音楽祭補助金に100万円などとなっています。なお、農業集落排水事業特別会計では232万円が追加補正されました。

条例の改正等

○町税条例の一部を改正する条例

〔説明〕 地方税法の改正により、過料額の引き上げ等を行うものです。

○農業振興基金条例の一部を改正する条例

〔説明〕 条例名称を産業振興基金とし、農業振興に加え、商工業の振興も対象とするものです。

○町有住宅使用に関する条例の一部を改正する条例

〔説明〕 駅前団地単身者住宅と小・中学校教頭住宅の使用料などを新たに設定するものです。

○簡易水道事業給水条例の全部を改正する条例

〔説明〕 水道法に基づき、新たに「指定給水装置工事事業者」を条例に加えるものです。〔※〕「指定給水装置工事事業者」とは、工事を施工するための専門的な知識と技術を有すると認められた工事事業者のこと

○農業集落排水処理施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

〔説明〕 簡易水道事業給水条例の改正に伴い、改正を行うものです。

○営農安定化基金条例を廃止する条例

〔説明〕 平成13年に施行された同条例を廃止するものです。

○過疎地域自立促進市町村計画の一部変更について

〔説明〕 平成22年に策定された計画に保養研修施設改修など3事業を追加するものです。

一
般
質
問



速見議員

【速見議員】

本町では、介護を必要とする高齢者や障がい者の方が暮らしやすい住宅に改造する時に、助成金を交付する制度として「人にやさしい住環境整備助成事業」があります。

助成金は改修に要する経費の2分の1で、100万円を限度とするものです。高齢化が進んでいる中で制度を活用し、安全な住環境整備を行うことは事故防止からも重要なことだと思います。

しかし、平成19年から制度を利用された方がいないと聞いておりますが、それは必要要件の基準が厳しいからではないかと思えます。他の自治体の中には要介護という必要要件がなく65歳以上の高齢者を対象にバ

問

人にやさしい住環境整備事業を
使いやすく

答

住宅バリアフリー助成事業の
創設を検討したい

リアフリー化等の安全な住環境整備に対して補助金を出している所もあるようですが、本町においても対象要件の緩和ができないか伺います。

【神薙町長】

介護を必要とする高齢者や身体障がい者の方の生活を支援するため、住宅の改修に要する費用を助成する制度で、介護保険の開始に先駆けて平成11年4月に条例を制定したものです。

利用実績は、平成11年から18年までに身体障がい者の方が5件、介護が必要な方が4件、合計9件です。平成19年以降は小額で個人負担の少ない介護保険法あるいは、自立支援法の住宅改修助成事業を利用されてきたのが実態です。

とりある日常生活を送るため、新たな住宅バリアフリー助成事業の創設に向けて、

該当者数や希望者数の把握に努めながら検討したいと考えています。

問

公共建築物及び
一般住宅の耐震改修は

答

今後の行政運営、
財政状況を勘案しながら進める

【速見議員】

本町は、比較的自然災害の少ない地帯であります。東日本大震災を通して、町民の皆さんも地震の恐ろしさを再確認されたのではないかと思います。

近年地震が頻発し被害が多いことから、平成18年「改正耐震改修促進法」が施行され、それに伴い昨年度「秩父別町耐震改修促進計画」が策定されました。

この計画は、平成27年度末までに一般住宅及び公共建築物の耐震化率の目標を90%として、耐震改修促進に取り組みものです。

そこで、今後の取り組みですが、目標達成に向けて耐震化されていない公共建

築物の耐震改修についてどのようなスケジュールで実施されるのか、また、一般住宅の耐震診断・耐震改修についてどのような誘導策、支援策に取り組みられるのか伺います。

【神薙町長】

公共建築物の内、学校やスポーツセンターは災害時の避難場所として活用され、また役場庁舎は災害情報収集や災害対策指示が行われるなど重要拠点として活用されることとなります。

災害時の拠点施設としての機能確保の観点からも公共建築物の耐震性確保が求められるとの認識のもと、

これら施設の耐震化を推進
しています。

既に、小学校は建築当初
から、中学校は耐震改修工
事を行い耐震性を有してい
る状況です。

現在、スポーツセンター
の耐震診断を実施中であり
今後、実施設計・耐震改修
工事の実施を計画していま
す。

更に、役場庁舎・消防庁
舎の耐震化を進めたいと考



北垣議員

【北垣議員】

本町で心配される災害に
は地震、台風あるいは大雨
による洪水などがあります。
特に水害についてですが、
普段から排水機の整備・試
験運転等を行い、万全を尽
くし避難先を確保、住民に

えています。何れの施設
も建築後、相当年数を経過
していることから、改修経
費の高額化が予測されます
ので今後の行政運営、財政
状況を勘案しながら進めて
いきたいと考えています。

り組むことができるよう環
境整備や情報提供等必要な
施策を講じていきます。
更に、耐震診断の促進を
図り、耐震診断の結果、倒
壊のおそれがあると判定さ
れた住宅については、所有
者の負担軽減を図るため、
耐震改修工事費用の支援制
度創設について、今後検討
したいと考えています。

問 秩父別町の防災対策は

答 防災計画に基づき、
災害の未然防止に努める

対する周知確認などが大切
と考えられます。

先日の大雨においても、
農家の人達が水田の排水を
止めて、雨が止んでから排
水するように協力をしても
らい、大きな効果があつた
と思います。

また、実際に被害となれ
ば、市街地の避難先の確認、
安全性の確認などの努力が
必要であります。
その対策について町の対
応を伺います。

【神数町長】

町民の尊い生命、身体及
び財産を災害から保護する
ことを目的として昭和38年
「秩父別町地域防災計画」
を策定し以来、年数の経過
や阪神大震災を教訓として
地震災害に備えた対応策を
加えるなど随時修正を行い、
災害の防止に努めてきまし
た。

平成21年には、避難場所
の見直しを図るなどほぼ全
面改正した「秩父別町地域
防災計画」を策定し今日に
至っています。

本町では大雨による災害
が過去にも幾度か発生して
おり、洪水と低地帯の農用
地を水害から守る上におい
て、排水機場の稼働による
内水の排除は重要な役割を
担っています。

本町には、2条と境川の
二つの排水機場があります
が、いずれも4月早々に専
門業者によるポンプ設備・
原動機設備の点検と整備を
行っています。

また、今回の大雨による
南2条2丁目付近の低地帯
の内水排除対策として稼働

した緊急排水ポンプは、こ
れも春先に試運転を行い点
検し今回の対応となりました。

また、町民の皆さんの避
難先周知としては、避難先
や災害に備えた心がまえを
明示した「防災マップ」を
全戸に配付しています。

更に、町の広報誌・ホー
ムページ等を活用し、防災
意識の高揚に努めています。
いずれにしましても、災
害発生時は防災計画に基づ
き、町長を本部長とする災
害対策本部を設置し、職員
全員による町内全域の巡回
を実施するとともに、町内
会長さんの協力を得ながら、
危険箇所を的確に把握し、
災害の未然防止に努めます。



境川排水作業の様子（9月4日）

所管事務調査 8月29日

総務経済常任委員会

平成23年度建設・土木事業の概要について、建設課担当者からの説明及び現地調査を実施しました。

○調査の結果及び意見

平成23年度において建設課が所管する建設・土木事業については、厳しい財政状況ではあるがほぼ前年並みの予算状況である。

8月23日現在の発注状況は、42件・2億5千227万円、このうち、発注済み額の約70%の工事が4月中に発注されている。

早期発注による早期完成・早期供用にとどまらず、事業者育成の面からも評価できるものであり、担当職員の努力に感謝する。

事業内容は、定住促進団地の造成工事に加え、日常生活に密接に関連する道路の舗装工事・住宅建設・街路灯LED化工事など、国

の補助制度を有効に活用して必要な事業を実施している。

定住促進団地は、13区画中6件8区画が成約見込みで、早々に着工する方もいると聞いている。早期に全区画が完売し、更には第二期分譲が実施され定住人口が増加するよう期待する。

また、駅前団地単身者住宅は木造建築となっていて、低価格で建築できる反面、耐用年数が短いことや騒音などの居住性では鉄筋コンクリートに劣ると考えられるが、低収入の若年層に低家賃の住宅を供給するための試みである。

なお、今までの単身者住宅との家賃に開きが出てきているので、居住性や経過年数なども十分に考

慮して今後の家賃設定についても検討されるよう、お願いしたい。

今後においても、地方財政は引き続き厳しいものと思われるが、健全な財政運営を堅持しつつ、町民が真に必要な事業の執行を引き続きお願いするものである。



駅前団地単身者住宅

北空知議会議員研修

7月28日、北空知議会議長連絡協議会主催の研修会が1市4町の議員が一堂に会し沼田町ほろしん温泉で開催されました。

講師には本間奈々氏をお迎えし「現代の地方自治の課題」と題して講演がありました。

本間氏は、93年に自治省に入省し山梨県市町村課、総理府、厚生労働省、札幌市企画調整局企画部企画課長、愛知県春日井市副市長などを歴任され10年に、総務省自治大学校研究部長をもって退官されました。

自治省のキャリアは転勤が多く女性採用は珍しく本間氏は歴代3人目であり、札幌には3、4歳の小さいお子さんを連れて来られ仕事と子育ての両立に悪戦苦闘されたそうです。

講演の中で現代の課題は、急激な少子高齢化であり、一極集中の都市化と地方での限界集落ができるなど過疎化が課題でありこれらの現象は特にコミュニケーションの崩壊・無縁社会が大きな問題であると話されました。

年間3万人の自殺者、9万人の孤独死者がおり孤独生活は自治体や行政が守らなければならぬと力説されました。その中で模範例として立川市にあるマンモス団地での住民の連携で平成16年から孤独死ゼロという実例が紹介されました。

町内会活動は日本だけのものがあるようですが、近所づきあいの重要性を改めて感じました。



本間奈々氏

北空知市町議会議員

要望書を中央に提出

8月8日～10日、北空知一市四町の議員10名で要望団を結成し、本町からは畑田議員と本村議員が派遣され、中央へ陳情しました。要望は、有数の穀倉地帯として安心・安全な食料を安定供給するための要望、住民が安心して生活できる地域医療の確立のための要望であり、

- 1 農業農村整備事業の予算確保
- 2 TPP交渉参加反対
- 3 地域医療体制の充実

の3項目について積極的に要望行動をしました。小平衆議院議員をはじめ、稲津衆議、小川参議、徳永参議、伊達参議、長谷川参議、紙参議の道内選出衆参議員の議員室を訪れ、要望書を手渡しました。また、農林水産省では事前に提出してあった要望事

項について、それぞれの担当者から回答を頂き、農業のおかれている実態を理解して頂けるよう意見交換をしました。総務省でも地域医療の状況について意見交換しました。

要望活動に先立ち、神奈川県かわさき市民活動センターで「ボランティア意識の啓発と市民活動」の研修をしました。

今後においても、直接お会いしての情報交換・意見交換の必要性を感じました。



小平衆議への要望活動

平成22年度 決算を認定



審査報告をする土井委員長

第3回定例会において、平成22年度一般会計と6特別会計の歳入歳出決算の審査を行いました。

審査にあたり、全議員による決算審査特別委員会を設置し、委員長に土井副議長、副委員長に北垣議員を選出し、2日間にわたり審査しました。

審査の結果、一般会計及び特別会計は適正に執行され十分な効果を上げているとし、土井委員長から「認定すべきもの」との報告書が柴田議長に提出されました。

任期満了による選挙管理委員および補充員の選挙が行われ、次の方が当選しました。

【選挙管理委員会】

委員

補充員

(西栄町内)	松本 勉 氏 (再任)	1番 平瀬 悦子 氏 (新任)
(中央東町内)	東 晴基 氏 (再任)	2番 高村 広行 氏 (新任)
(筑紫町内)	川邊 和代 氏 (再任)	3番 前田 力男 氏 (新任)
(筑紫町内)	須藤 悟 氏 (新任)	4番 福島 敦子 氏 (新任)

人事

今定例会では、教育委員会委員の任命に対する議案が提出され、満場一致で同意いたしました。

【教育委員会委員】
(北部町内)

沼田 進 氏
(再任)

昭和28年11月22日生



東日本大震災

町議会議員会は、とんでんまつりの百足競走大会の優勝賞金(3万円)を被災地の復興への一助になればと、町を通じ日本赤十字社に寄付しました。

意見書を提出

今定例会では、次の意見書を採用し、直ちに議長名で内閣総理大臣外関係機関に提出しました。

【意見案第2号】

軽油引取税の課税免除措置などの恒久化を求める意見書

【意見案第3号】

平成24年度農業予算編成ならびに税制改正に関する意見書

所管事務調査の 申し出

議会閉会中の所管事務調査について、総務経済常任委員会及び議会運営委員会から、次のとおり申し出がありました。

○総務経済常任委員会

財政及び税務事務の状況について

○議会運営委員会
農作物の収穫状況について

次期町議会の運営について

◆◆議会の傍聴に 来ませんか◆◆

第4回町議会定例会は、12月上旬に開催されます。お気軽にお越し下さい。



第3回町議会定例会 (9月13日)

お問い合わせ

秩父別町議会事務局

電話33-21111 (25・26)



議会の主なつぎき

【8月】

8日 北空知議会議長連絡協議会中央要望実行運動 (～10日)

10日 萬霊供養塔慰霊祭

18日 議会広報研修会

29日 総務経済常任委員会
議会全員協議会

31日 秋の水天宮祭・断水式

【9月】

5日 町政討論会

7日 議会運営委員会

9日 長寿をお祝いする会

13日 議会全員協議会
第3回町議会定例会 (～14日)

14日 議会広報特別委員会
議会全員協議会

【10月】

5日 アキグミ収穫祭

18日 「TPP参加断固反対」郷土の空知を守るキャラバン行動町内集会

20日 老人オリンピック大会

31日 議会広報特別委員会
戦没者秋季法要

【11月】

1日 空知町村議会議長会第2回定期総会(～2日)

編集後記

◆春先の天候不順から作業が遅れ農作物の生育が心配されましたが、天候が回復し昨年と同じく猛暑となりました。

昨年は、イモチ病が発生し残念な結果となりましたが、今年は、その対策を徹底して行ったことから、品質も良く平年作以上の期待が出来るようです。

デビュー3年目となる「ゆめぴりか」は生産量も増え、今年から通年販売を予定していると言います。消費者みなさんに、ブランド米として認められる米に育ってほしいものです。

◆朝夕、寒さが一段と厳しくなり、冬景色が近づく季節となりました。

冬季間、風邪をひかないよう健康管理に気をつけるとともに、必ずインフルエンザ予防接種を受け、この冬を元気で過ごしたいものです。

(速見)